

平成25年
3月1日号

子どもと未来の柏のために

放射線対策 NEWS NO.027

掲載情報は個別に記載したものを除き2月20日現在のものです

市内の空間放射線量の測定と公開を行っています

市では、市内主要道路と駅周辺の空間放射線量率について、携帯型環境放射線測定器を用いた車載走行・歩行による測定を行っています。詳しい測定結果は、市のホームページで見ることができます。今号では、測定方法や今後の実施スケジュールについてお知らせします。

☎放射線量測定コールセンター ☎7168-1037・放射線対策室 ☎7168-1036

測定の目的は？

- 現在の市内の空間放射線量率の状況を広域的に確認します
- 同一の方法で継続して測定することで、市内の空間放射線量率の推移を確認しています

測定方法は？

- 測定機器は、GPS付き携帯型環境放射線測定器を使用しています
 - 歩行測定は、高さ1メートルで測定しています
 - 車載測定は、車のトランク(高さ1メートル)に機器を設置しています
- 数値は、過去60秒間の空間の平均線量を10秒ごとに記録していきます※静止した状態で測定した数値と異なる場合があります
- 数値は、補正係数を掛けずそのままの数値を使用しています



測定スケジュール(予定)

第1回	平成24年10月1日～11月25日実施済	第4回	8月ごろ
第2回	平成25年2月1日～22日実施済	第5回	11月ごろ
第3回	5月ごろ	第6回	平成26年2月ごろ

- 第1・2回測定結果は、ホームページで公開しています

<参考>市内はどのような状況なの？

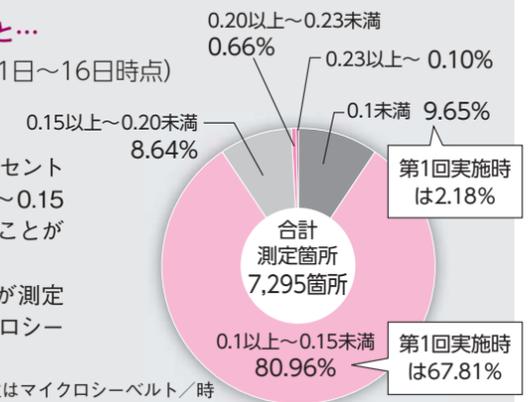
第2回の車載測定結果(速報値)は、次のとおりです。

●市内計測データをまとめると…

第2回測定結果(平成25年2月1日～16日時点)
車載測定+歩行測定

測定した範囲では、約80パーセントの地点で、空間放射線量が0.1～0.15マイクロシーベルト/時であることが分かりました。
また、都内約3,000箇所を市が測定したところ、0.04～0.16マイクロシーベルト/時でした。

※単位はマイクロシーベルト/時



●測定結果の詳細は各回測定後にホームページで公表しています



もっと知りたい
かしわの放射線 Q&A
第4回

日頃、多く寄せられる放射線に関する疑問や悩みについて、市民の皆さんと共有し一緒に考えていきます。柏市の状況を正しく理解し、適切な対応を心掛けることが大切です。

☎放射線対策室 ☎7168-1036

Q 自分たちでできること、気を付けること

昨年6月に子どもが生まれました。福島第一原発事故以来、周りに放射性物質が拡散していると考えただけで、不安に感じています。放射能だけが生活リスクではないと思っていますが、子どもの健やかな成長のために、放射線に関して気を配ることや親としてできることはありますか。

A 一緒に考えてみましょう!

まずは、現状を知り、系統的でよく精査された放射線情報を入手することから始めましょう。国や自治体がホームページ、広報紙などで発信している最新情報が良いと思います。インターネット上に流れるうわさなどの情報だけに頼ると、理解や判断を誤ってしまう可能性があります。柏市では、市内の放射線量を継続的に測定し、結果を市のホームページや広報かしわなどで公表しています。事故後から現在までの状況を時系列で確認することができます。このような情報を材料にすることで、生活動線上の放射線状況が把握でき、必要となれば除染の範囲と方法を考えることができます。

生活動線上の放射線状況をより細かく把握するには、市が貸し出している放射線量測定器を利用したり、放射線量の訪問測定と除染相談のサービスを活用したりすると良いでしょう。周囲に比べて放射性物質が多く集まっている箇所(いわゆるマイクロスポット)が点在していますが、その多くは狭い領域で局所的で、ご自身やお子さんの身の回りの生活環境、行動範囲の放射線量の分布を正しく把握できれば、線量の高い場所に不用意に近付かない等の工夫ができます。これが放射線リスクを下げるにつながります。

線量の高い箇所が見つければ、必要に応じて除染することも視野に入ります。実際に除染するかどうかの判断にはいくつかの視点がありそうです。放射性物質が多く集まっている場所での滞在時間が長くなるようでしたら、対応を検討します。「どのような除染技術を用いるのが適切か、どの程度線量が下がりそうか」など、柏市では、豊富な経験を基に個別にアドバイスをしてくれます。併せて、柏市では小冊子や除染動画を用意していますので、一度参考にされるのもよいでしょう。一方で、日頃近付かない場所や短時間にサッと通るだけのような場所であれば、実際に受ける線量は低く、除染の優先順位は低くなると考えられます。放射性物質(放射線源)から10センチメートル、1メートル…と距離が遠ざかるにしたがって、線量は急激に低減する特徴がありますので、このことを考慮に入れ総合的に判断することが重要です。

「除染」は放射線リスクを低減するための一つの手段です。それが技術的に困難な場合でも、本紙2月1日号放射線対策ニュースでもお知らせした「放射線防護の考え方」をうまく組み合わせれば、合理的で効果的な線量低減ができると思います。

(東京大学環境安全本部・飯本武志准教授監修)

●本コーナーの定期掲載は今回で終了します。今後は不定期で掲載する予定です

●放射線量訪問測定と除染相談

測定経験豊富な測定員が家庭を訪問し、地表から1メートル・地表面の高さを測定。その結果に基づき、各家庭に合わせた対策を提案しています。

●放射線量測定器の貸し出し

信頼性の高い測定器(エネルギー補償型のシンチレーション式測定器)を最長3日間貸し出しています。

◎各支援等の詳細や申し込みについては、放射線量測定コールセンターへお問い合わせください

☎放射線量測定コールセンター ☎7168-1037

放射性物質の検査結果

■市内の農産物 **N** ☎農政課 ☎7167-1143

[北部]ベカ菜、キク芋、シュンギク、イチゴ	検出下限値未滿
ゴ[中央]カブ、コマツナ、ネギ[南部]カブ	(放セ)134: 7.84 ~ 11.75、(放セ)137: 7.12 ~ 10.67)
[手賀沼周辺]ニンジン、ナバナ、大根、カブ、ホウレン草、聖護院大根、赤カブ	

(2月5日～20日検査分)

■給食食材 **☒** ☎学校保健課 ☎7191-7376

牛乳、米	検出下限値未滿 (放セ)134: 10、(放セ)137: 10※飲用牛乳は各1)
------	---

■小中学校(提供した給食1食分) **☒**
☎学校保健課 ☎7191-7376

自校調理14校、給食センターの提供食	検出下限値未滿 (放セ)134: 0.7 ~ 1.4、(放セ)137: 0.7 ~ 1.3)
--------------------	---

(2月1日～8日検査分)

■保育園(提供した給食1食分) **☒**
☎保育課 ☎7167-1137

公立・私立合計15園の提供食	検出下限値未滿 (放セ)134: 0.59 ~ 0.88、(放セ)137: 0.64 ~ 0.84)
----------------	---

(2月5日～13日検査分)

■表記の説明 (2月5日～13日検査分)

N=NaI (TI)シンチレーションスペクトロメータによる検査
☒=ゲルマニウム半導体検出器による検査
放セ=放射性セシウム
 数値は各下限値。単位はベクレル/キログラム
検出下限値=使用する検査機器で検出できる最小値のこと
 品目・学校名・検査方法などの詳しい内容は、市のホームページに掲載しています。私立幼稚園の検査結果も見ることができます

このページは、取り出して保存できます。柏市の放射線対策に関する情報は、市のホームページの「放射線関連情報」で随時お知らせしています 4